

**TOSHIBA**

Leading Innovation >>>

---

**2007年度  
第3四半期決算  
(9ヵ月累計)**

2008年 1月29日

株式会社 **東芝**

代表執行役専務 村岡 富美雄

---

## 注意事項

- この資料には、東芝の将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信にもとづく見込みです。
- また、多様なリスクや不確実性（経済動向、エレクトロニクス業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これに限りません。）を含んでいます。そのため、実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。
- 注記が無い限り、表記の数値は全て9ヵ月累計です。

## 今回の決算のポイント

- 上期の好調を受け、前年同期比で増収・増益を確保

売上高	55,684億円 (+6,131億円、112%)
営業損益	1,246億円 (+35億円)
税引前損益	2,263億円 (+247億円)
当期純損益	1,262億円 (+149億円)

\* 10-12月期の営業損益は、PC事業が好調を継続。家庭電器も好調。NAND型フラッシュメモリの価格下落の影響等もあり前年同期を下回る。

売上高	18,785億円 (+852億円、105%)
営業損益	421億円 (-138億円)

- 営業損益では、PC事業、社会インフラ部門が堅調
- 銀座東芝ビルの売却益を計上

(対06年度)

## 概要

摘 要	07年度	06年度	差
			対06年度
売 上 高	55,684	49,553	6,131
営 業 損 益	1,246	1,211	35
%	2.2%	2.4%	-0.2%
税 引 前 損 益	2,263	2,016	247
%	4.1%	4.1%	-
当 期 純 損 益	1,262	1,113	149
%	2.3%	2.2%	0.1%
基 本 的 1 株 当 た り 当 期 純 損 益	39円09銭	34円61銭	4円48銭

単位：億円

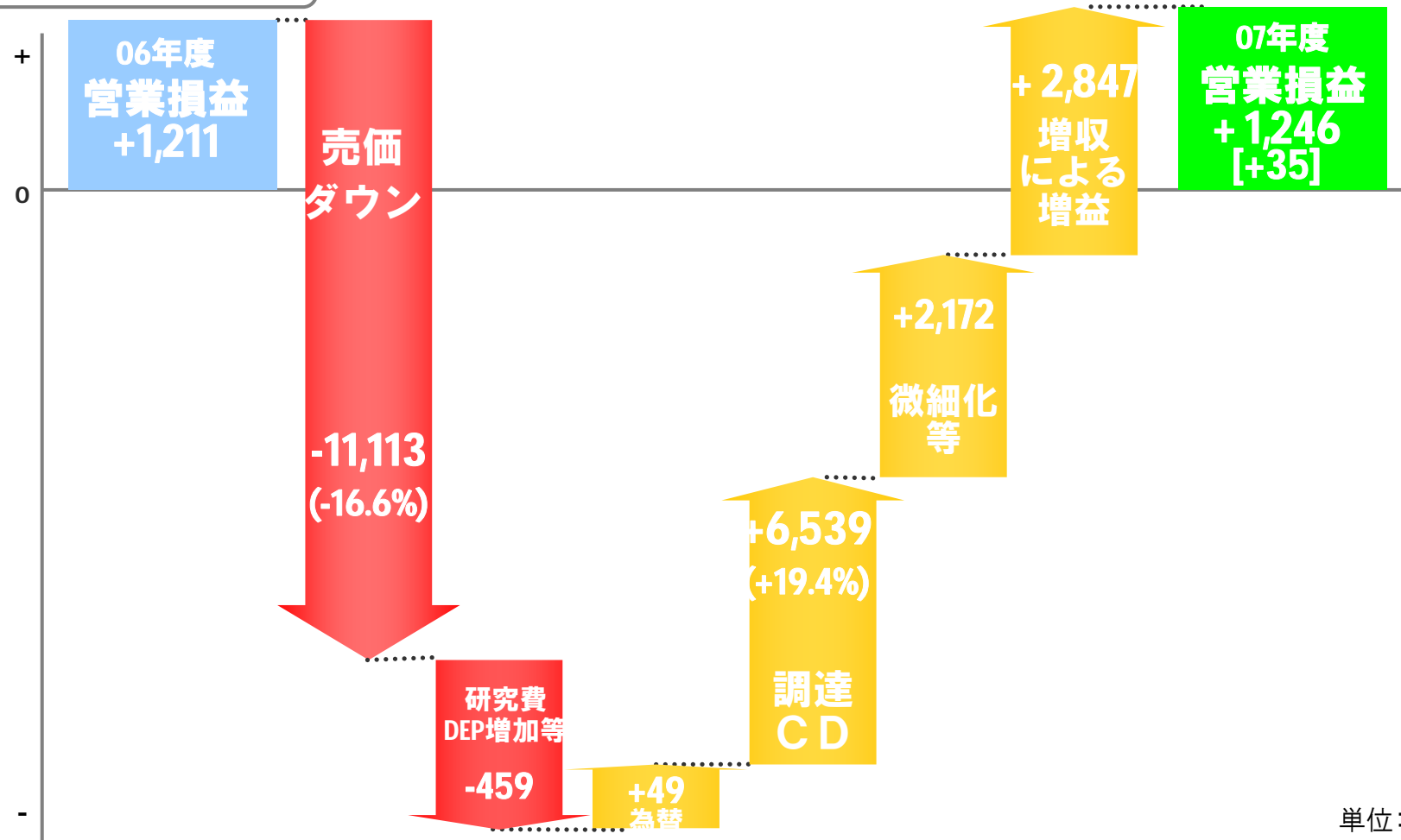
## セグメント情報

単位: 億円

売上高	07年度	06年度	差
			対06年度
デジタルプロダクツ	22,286	20,637	1,649
電子デバイス	13,239	11,798	1,441
社会インフラ	15,978	12,845	3,133
家庭電器	5,760	5,490	270
その他	2,876	2,819	57
連結計	55,684	49,553	6,131

営業損益	07年度	06年度	差
			対06年度
デジタルプロダクツ	66	98	-32
%	0.3%	0.5%	-0.2%
電子デバイス	689	794	-105
%	5.2%	6.7%	-1.5%
社会インフラ	345	222	123
%	2.2%	1.7%	0.5%
家庭電器	20	18	2
%	0.3%	0.3%	-
その他	129	96	33
%	4.5%	3.4%	1.1%
連結計	1,246	1,211	35
%	2.2%	2.4%	-0.2%

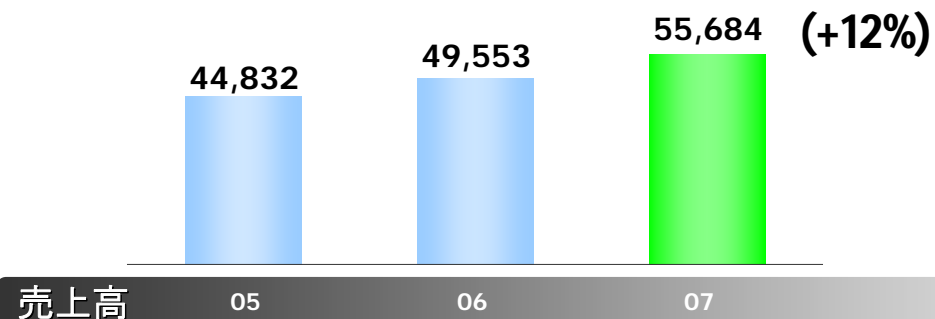
## 営業損益分析



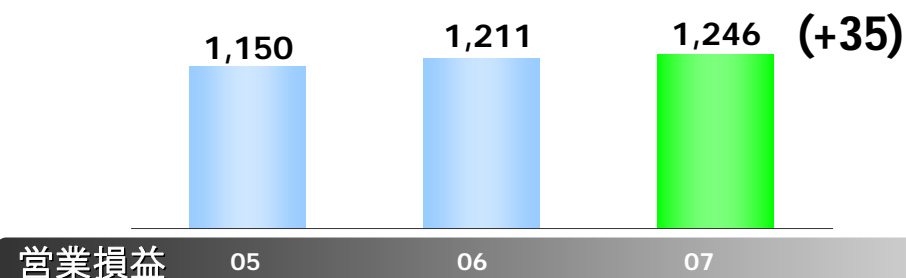
単位: 億円  
(対06年度)

## 決算レビュー

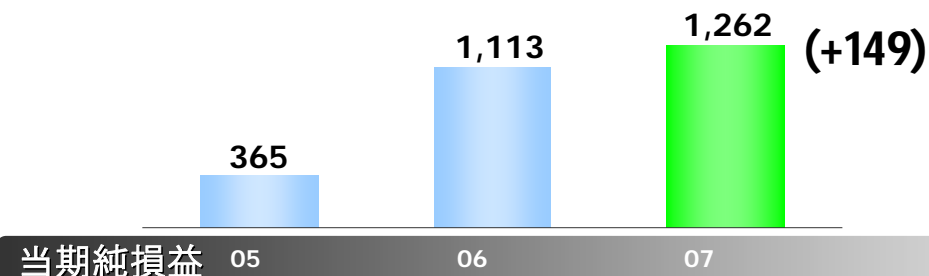
単位: 億円  
(対06年度)



■ 売上高:  
全セグメントで増収

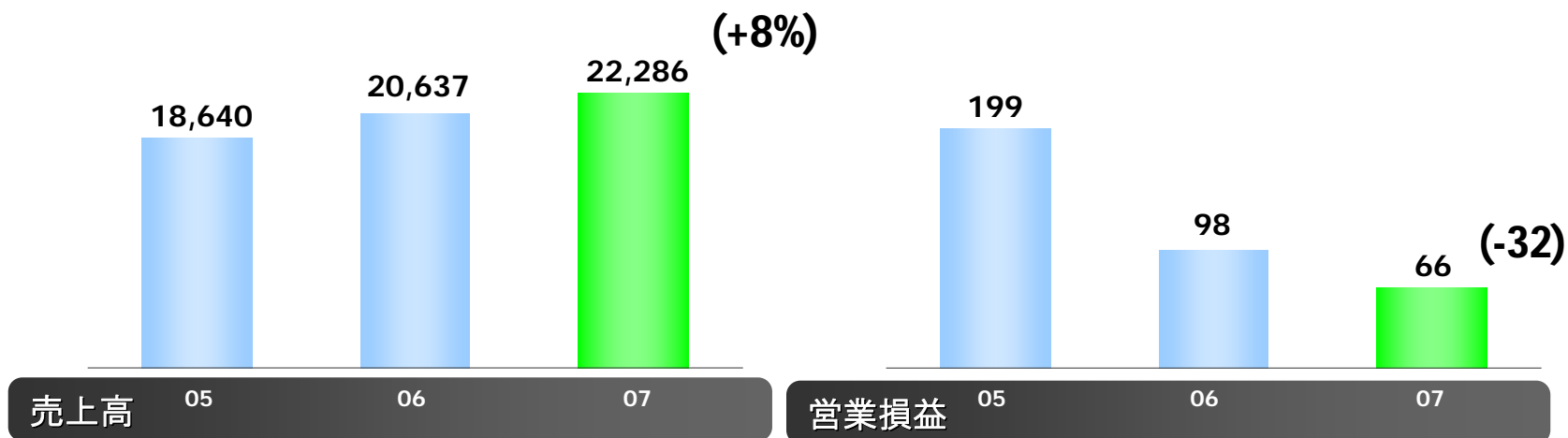


■ 営業損益:  
電子デバイス部門、デジタルプロダクツ部門が減益となったが、社会インフラ部門が増益



■ 当期純損益:  
営業損益及び営業外損益の改善により増益

## デジタルプロダクツ



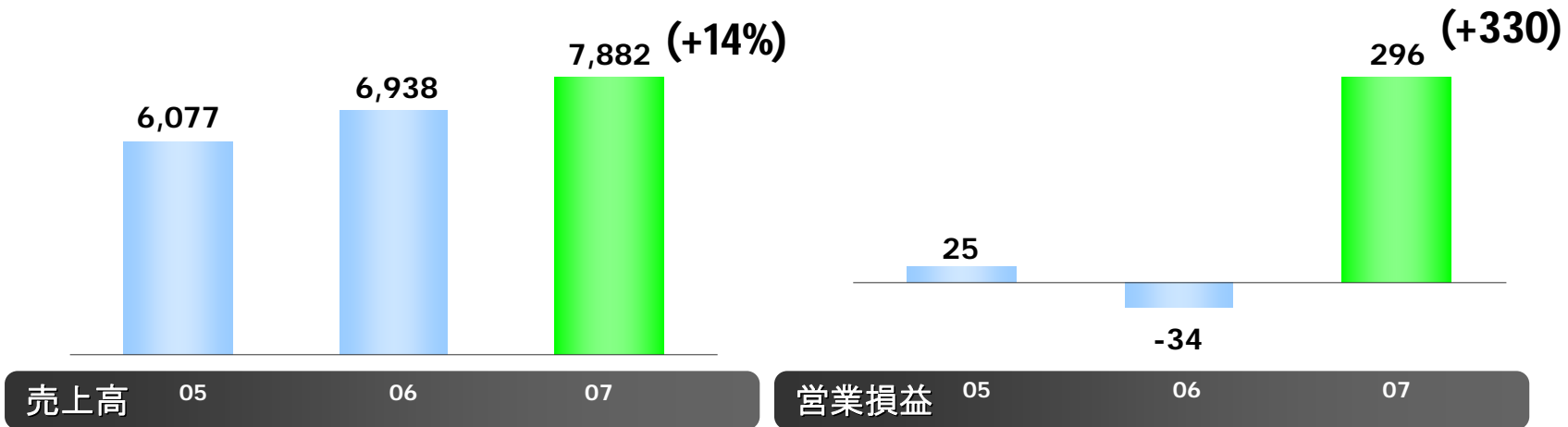
- PC事業が国内外で大幅増収、流通・事務用機器事業も好調
- テレビ、ODDも伸長

- PC事業は大幅な増益だったがHDDの価格下落等の影響もあり、減益

単位：億円  
(対06年度)



PC

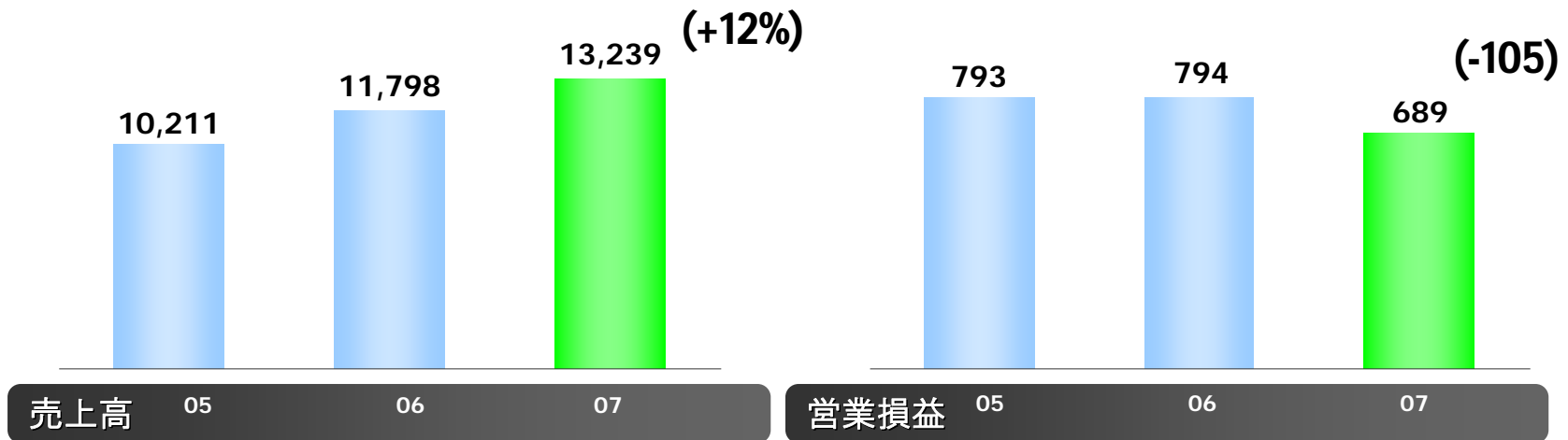


■ 販売台数の伸長により大幅増収

■ 販売台数の伸長およびコスト削減施策の実施により大幅増益

単位: 億円  
(対06年度)

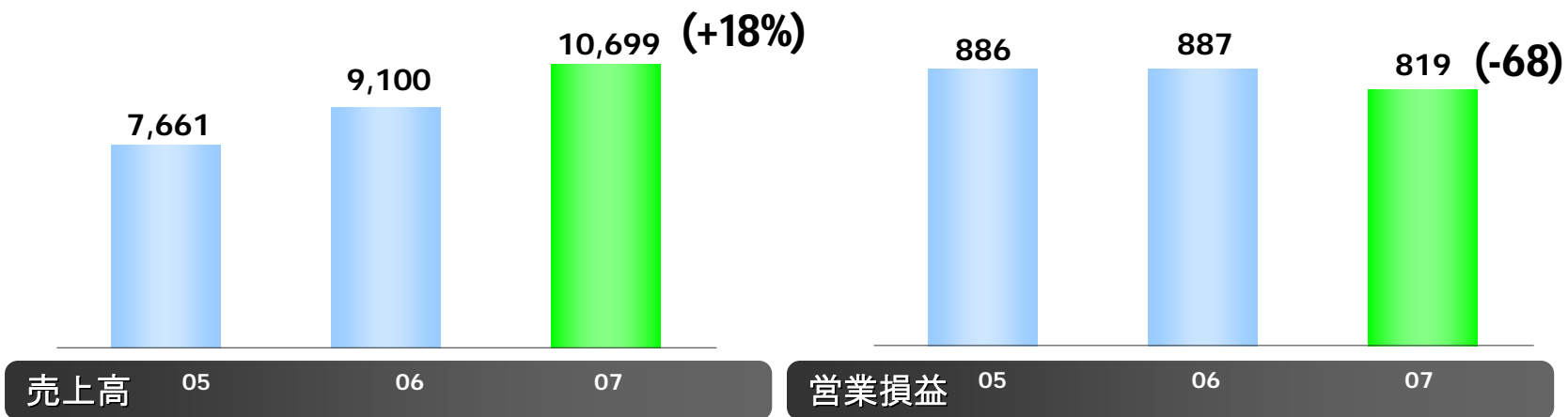
## 電子デバイス



■ 液晶事業は減収も、半導体事業がメモリを中心に増収で、全体として増収

■ 半導体事業が第3四半期のメモリの価格下落により減益、液晶事業も悪化した結果、全体としても減益

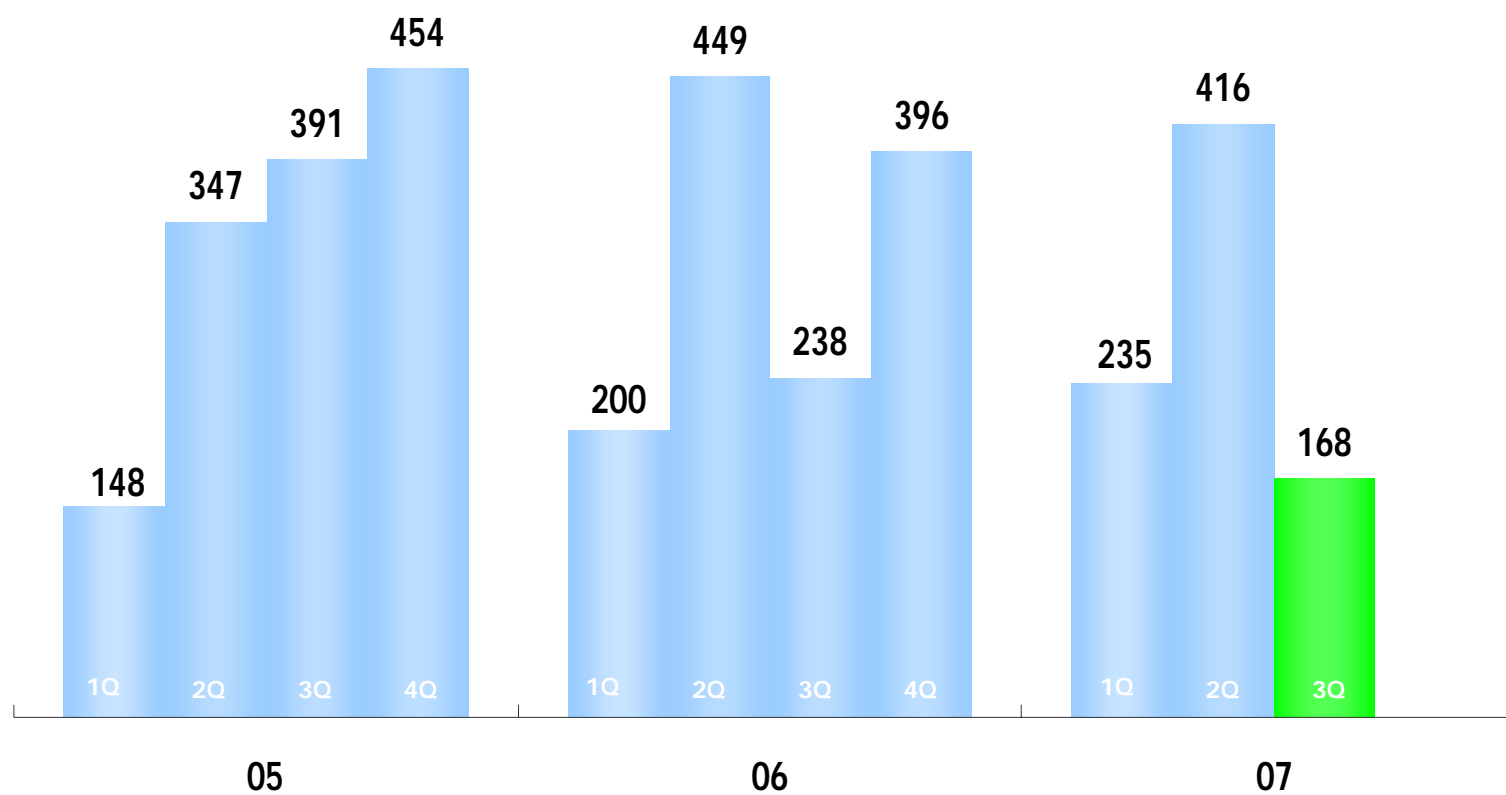
# 半導体



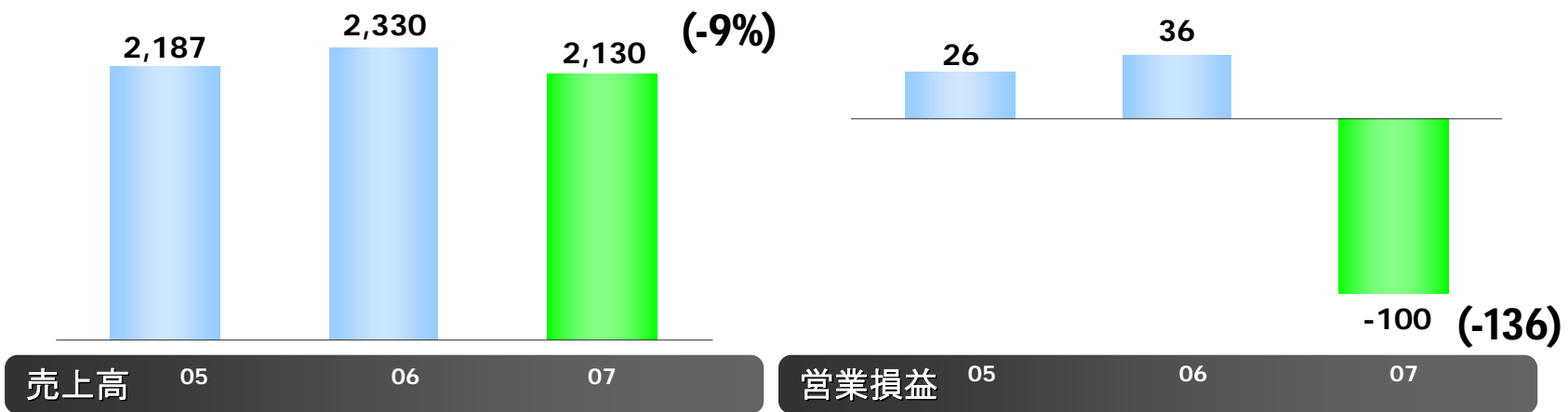
■メモリを中心に堅調に推移し、大幅増収

■第3四半期におけるNAND型フラッシュメモリの価格下落により減益

## 半導体四半期別営業損益トレンド



液晶

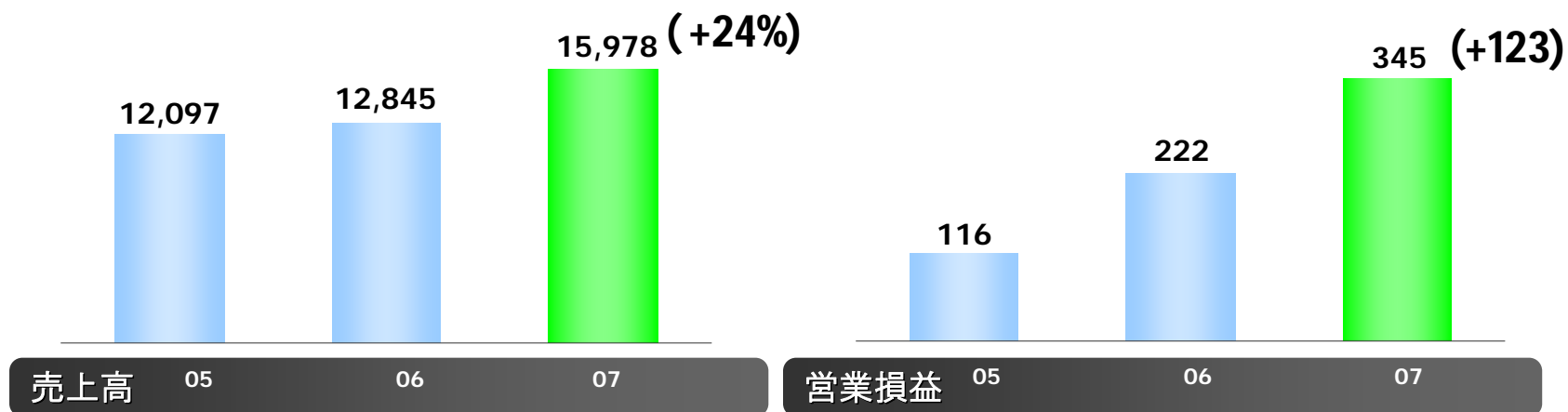


■ 携帯機器向けの不振と価格下落の影響により減収

■ 価格下落及び携帯機器向けの物量減により大幅悪化

単位: 億円  
(対06年度)

## 社会インフラ

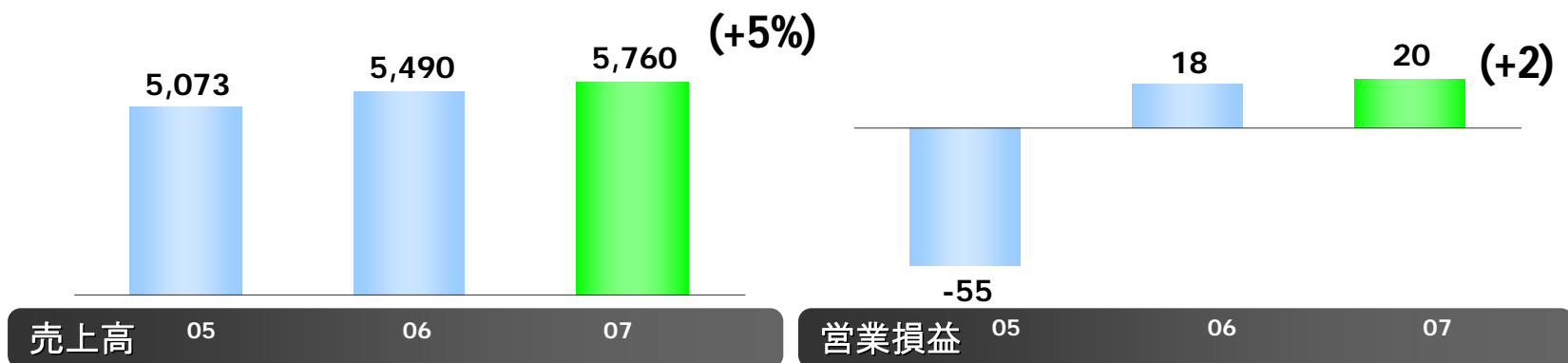


■ 電力システム事業、産業システム事業、医用システム事業を中心に順調で大幅増収

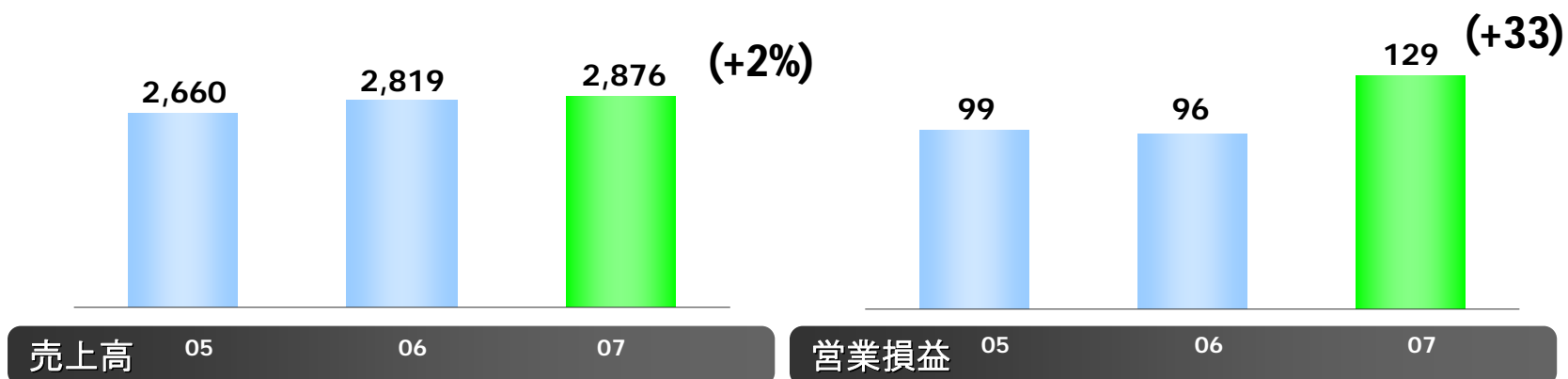
■ 電力システム事業、産業システム事業、医用システム事業に加え、昇降機事業が順調で大幅増益

## 家庭電器

単位: 億円  
(対06年度)



## その他



## 営業外損益

	07年度	06年度	差
有価証券売却損益	257	606	-349
固定資産売却損益	1,362	198	1,164
持分法投資損益	192	84	108
為替決済差損益	-55	130	-185
金融収支	-124	-56	-68
減価償却制度変更による影響	-350	0	-350
その他	-265	-157	-108
営業外損益計	1,017	805	212

単位：億円



## 減価償却制度見直し

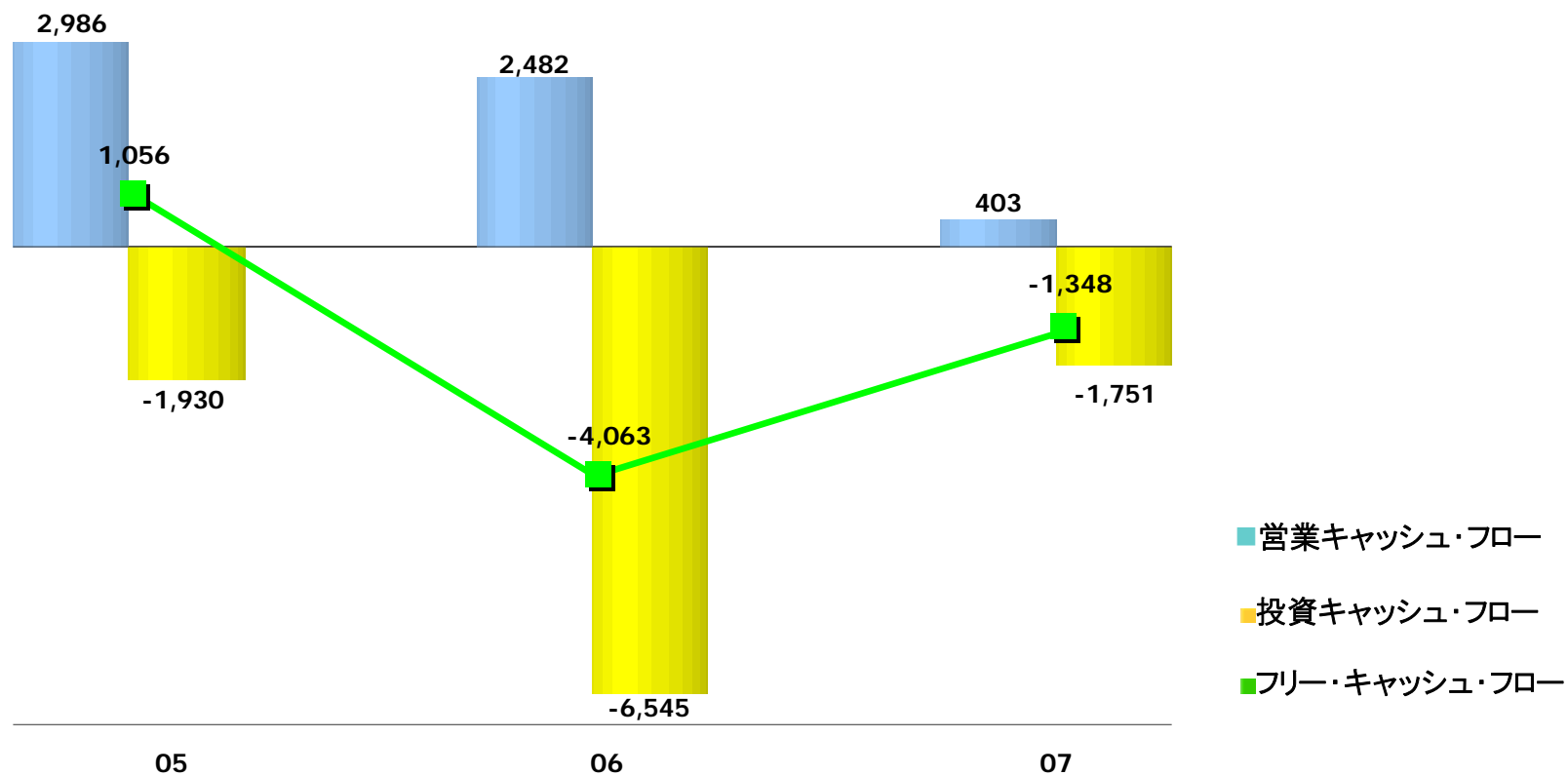
	07年度 4-12月期	07年度 通期	期初見通し	対期初見通し
新規取得設備	96	200	220	-20
償却途上設備*	350	470	0	470
限度額償却済	98	130	130	0
合 計	544	800	350	450

(内、半導体 363 509 200 309)

\*営業外損益に計上

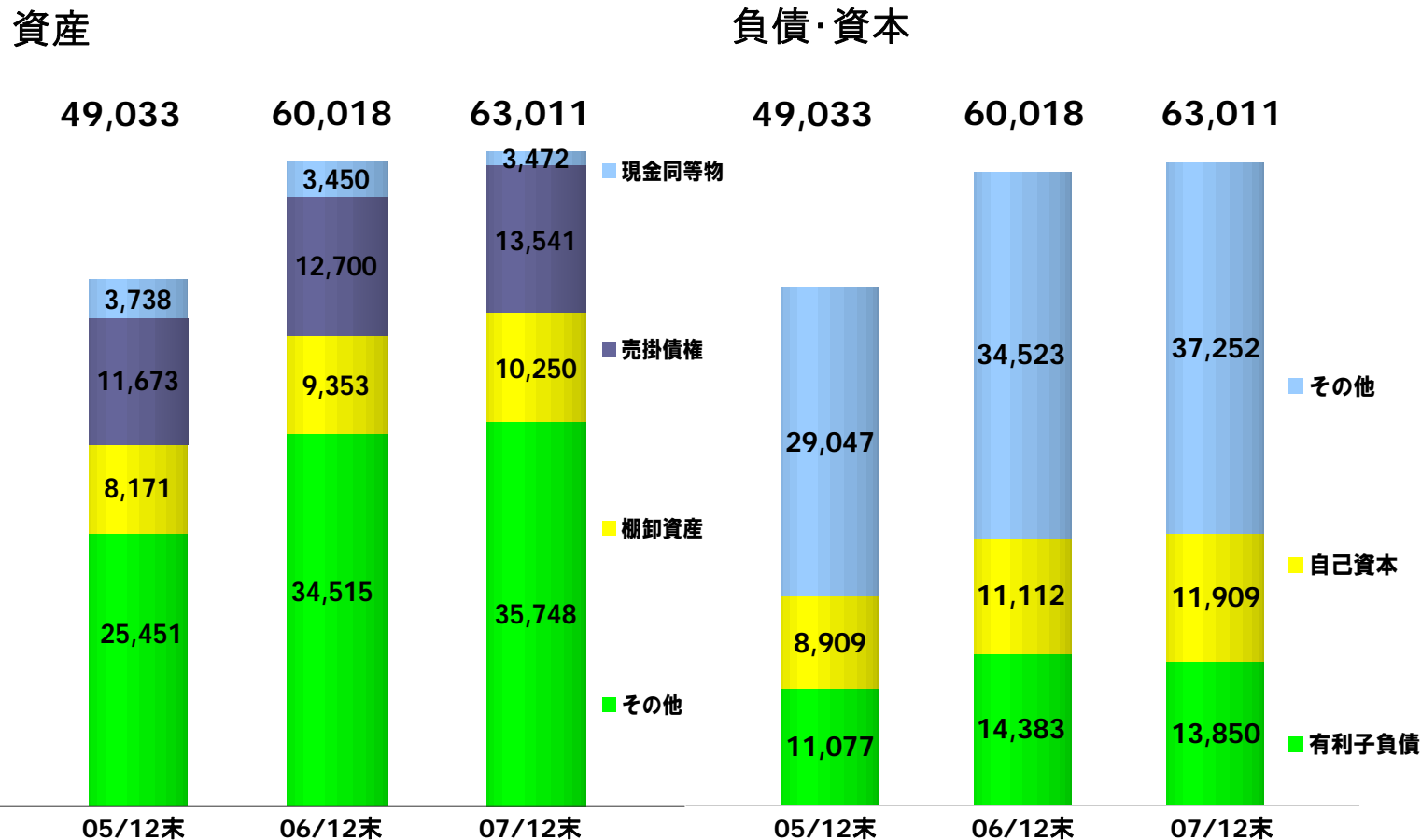
単位: 億円

# キャッシュ・フロー



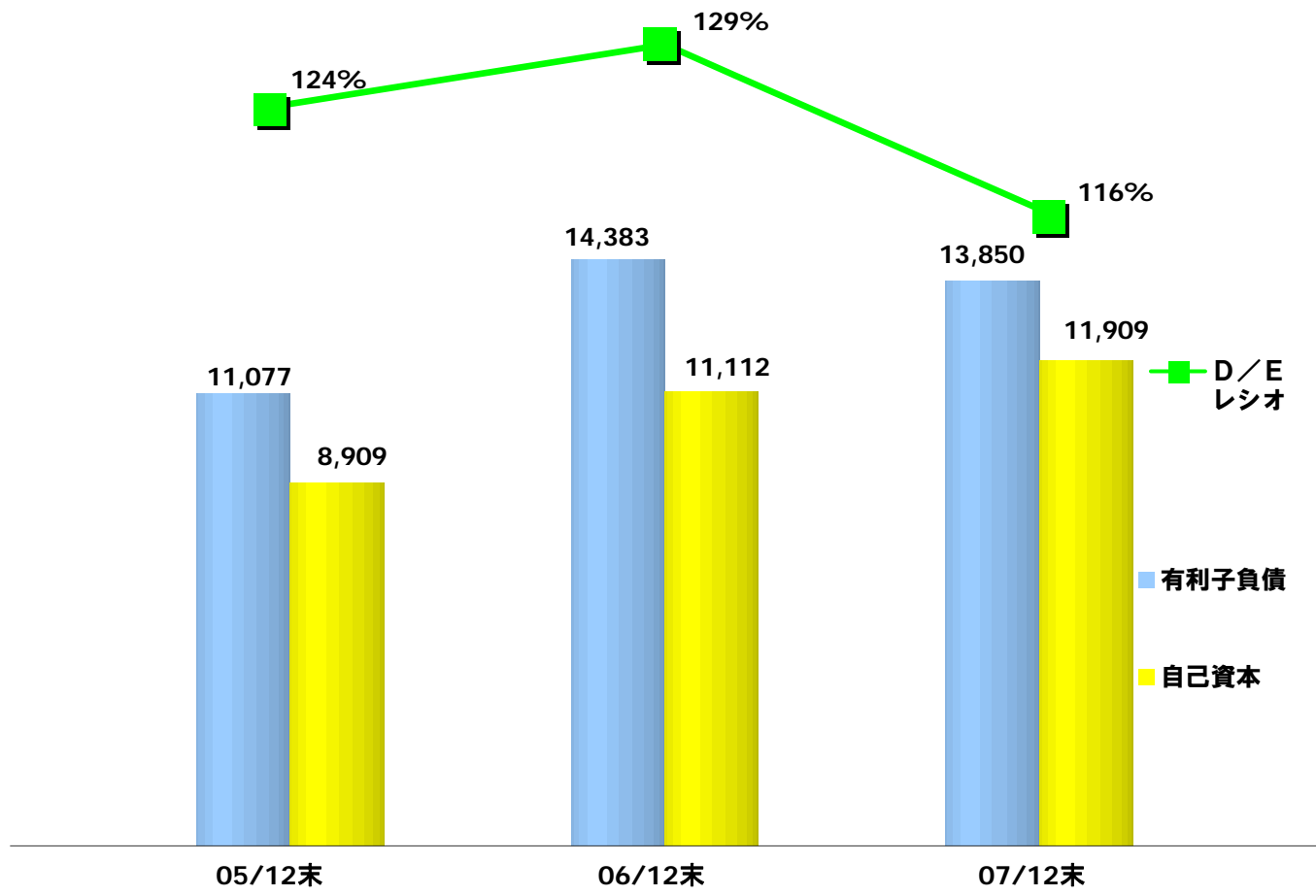
単位: 億円

# 貸借対照表



単位：億円

# DEレシオ



単位: 億円

## 概要 07年度業績見通し

摘 要	07年度	06年度	差
			対06年度
売 上 高	78,000	71,164	6,836
営 業 損 益 %	2,900 3.7%	2,584 3.6%	316 0.1%
税 引 前 損 益 %	3,500 4.5%	2,985 4.2%	515 0.3%
当 期 純 損 益 %	1,800 2.3%	1,374 1.9%	426 0.4%

\* 10月公表から、変更致しておりません。

単位：億円

---

# **TOSHIBA**

## **Leading Innovation >>>**